

YAMAHA

ヤマハ緊急用給水システム

新発売



ヤマハ発動機株式会社では、このたび災害発生などの緊急時に、生活のために不可欠な「水」をスイミングプールの水を有効に利用して「生活用水」と「飲用レベルの高度な処理水」とに処理し、一時的に災害から避難された人々に必要量供給することを可能にするシステムを新しく発売いたしました。さまざまなプールをつくり続けて21年。YAMAHAからの新しい提案です。

YAMAHA
POOL

必要な「量」を最適な「質」で、必要な「場所」で だれでも「働かせる」ことができるシステムです。

必要量

66,000ℓの水を2000人に供給。
学校などに設置されているプールには通常350㎡～400㎡の水があります。災害発生時にはさまざまな要因から推定200㎡の水を使用する事が可能と考えられます。「ヤマハ緊急用給水システム」はこの水から1人あたり1日3ℓの「飲用レベルの高度処理水」と同じく1人あたり1日30ℓの「生活用水」を、2,000人の人々に対し、連続3日間供給可能としました。

最適な質

生活用水と高度処理水を分離して同時に供給
災害時、必要な水は質と量に違いが生じます。このシステムは量を必要とする洗いや流し水のための処理水と、食用・飲用等の高度な処理水とを別々に取り出すことを可能にしました。しかも2種類の処理水は同時に供給可能となっています。

必要な場所

スイミングプールを21年発売してきた実績の発想です。
学校などスイミングプールが設置されている場所の多くは災害時避難場所となります。その場所で「生活のための水」が必要になります。この必要に応じてプールの新しい機能としてこのシステムを開発いたしました。

簡便にだれでも使用できます。

災害時、ライフラインが遮断された中で、複雑な装置は動きません。
このシステムは、もっとも手に入りやすい燃料である「ガソリン」を使用するエンジンポンプによって、フィルターを交換しなくても必要な量の水を3日間メンテナンスフリーで供給しつづけられます。

平常時でも使用できます。

ヤマハ緊急用給水システムは平常時には、オーバーフロー水再利用システムとして使用可能です。別売のサージタンクと専用の制御システムを取付けることによって、通常排水されているオーバーフロー水を再生し、プールにもどすことができます。夏期の渇水時など大きな節水効果を発揮します。

主要諸元

| | |
|--------------|-------------------------|
| ▶高さ | 1,255mm |
| ▶長さ | 1,960mm |
| ▶幅 | 1,160mm |
| ▶重量 | 300kg |
| ▶エンジン | 2.6馬力(ヤマハエンジンポンプYP20GN) |
| ▶燃料タンク | 3ℓ(2.5~3時間使用可能) |
| ▶燃料 | 無鉛ガソリン |
| ▶飲用レベルの高度浄化水 | 500ℓ/1時間 |
| ▶生活用水 | 5,000ℓ/1時間 |

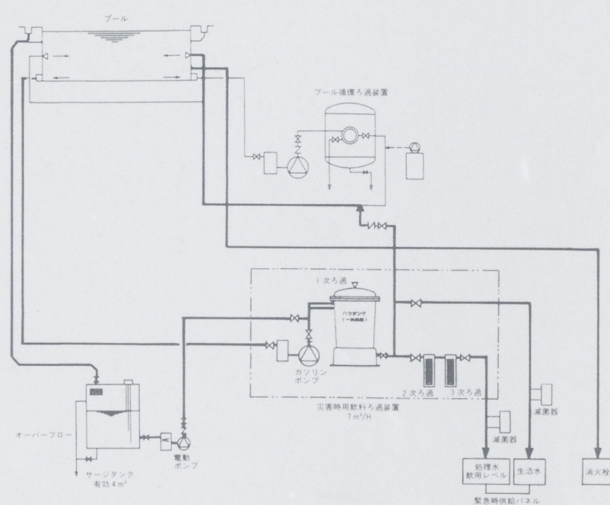
平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は未曾有の被害を地域の方々にあたえました。私たちはこの経験をしっかりとけとめ、分析し、ふたたびこの様な災害が発生したとしても少しでも人々の生活に役だつことができる様プールに対して多くの研究開発にとり組んでまいります。その課題として下記のようなものがあります。

- ▶ プールそのものの構造強化
- ▶ プール設置地盤の強化策
- ▶ 設備機器の被害防止、機能維持
- ▶ 設備配管の被害防止策
- ▶ プール水の貯留、保持
- ▶ プール水の積極活用策
- ▶ 機材搬入不可時でのメンテナンス、及びその容易さの追求 etc.

今回のヤマハ緊急用給水システムはこれらの取り組みの中から生みだされました。

※利用原水について飲用水として利用する為には安全性の確認された水を選んでください。水道水を原水として貯水されている水が基準です。

〈注意〉利用できない水 ●有害物質が混入している水(除藻剤・殺藻剤の入ったプール水) ●海水 ●魚が息出来ない水、自然水(河川、池等)は災害時、隣近工場などから有害物質の流水する恐れがあります。



■本体価格/3,500,000円

■オーバーフロー水再利用システム/1,400,000円